

臨床医学研究のお知らせ

板橋中央総合病院では、将来の医療を向上させるため下記の臨床研究を行っています。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを望まない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名	ERAS ガイドラインの教育介入が心臓外科手術患者の抜管までの時間に与える影響
研究責任者	板橋中央総合病院 集中治療科 佐藤 綾美
研究の対象	2023 年 6 月 1 月～2024 年 12 月 31 日の間、当院心臓外科手術を受け、かつ、術直後に人工呼吸器使用したまま集中治療室へ入室した患者。
研究の目的	手術後の回復を早めるために、近年 ERAS (Enhanced Recovery After Surgery) という取り組みが注目されています。これは、手術を受けた患者さまの体への負担を減らし、できるだけ早く普段の生活に戻れるようにするための医療の工夫です。 心臓の手術を受けた患者さまでは、術後の人工呼吸器管理が重要なポイントのひとつになります。手術後は、体の状態が安定するまで一時的に人工呼吸器を使うことが一般的ですが、その使用時間が長くなると、肺炎などの合併症のリスクが高まる可能性があります。そのため、安全なタイミングでできるだけ早く人工呼吸器を外す(抜管する)ことが、患者さまの回復にとって大切です。本研究では、ERAS の考え方に基づいた教育を医師や医療スタッフに行うことで、抜管のタイミングを適切に早められるかどうかを検討します。この研究は、電子カルテに記載してある情報を分析するものであり、研究対象者となっても新たな負担等はありません。研究の成果を、今後の心臓外科医教育や外科手術の改善に活用します。
研究の方法	本研究は、若手の心臓外科医が集中治療について学ぶ機会を通じて、実際の医療の現場でどのような変化があったのかを振り返って調べる研究です。2024 年 5 月から、心臓手術後の回復を早めるための「ERAS ガイドライン」を中心とした集中治療に関する講義を心臓外科医向けに実施しました。この教育前後の手術関連指標や成績を比較し、教育の効果を分析します。
研究期間	承認後～2026 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報等	術前の患者に関するデータ:年齢、性、術前 JAPAN スコア、SOFA スコア 手術に関するデータ:手術実施日、手術内容、手術時間など 人工呼吸器に関するデータ:人工呼吸器離脱テストの実施率など 入院中に使用した薬剤に関するデータ:血圧を下げる薬剤や血糖を下げる薬剤の使用有無や使用量など 入院中の採血に関するデータ:血糖値 入院中の患者に発生したデータ:人工呼吸器使用時間、ICU 滞在期間、院内死亡率
個人情報の取り扱い	(記載例)利用する情報から患者さまを特定できるような内容は削除します。研究成果は学会等での発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる情報は使用いたしません。
お問合せ先	板橋中央総合病院 集中治療科 佐藤 綾美 電話番号:03-3967-1181